

事務事業名	特定環境保全公共下水道施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	整備維持グループ	課長名	菅田雅人
	施策名	(16)下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4610
	目的 対 象	市民	意 図	衛生的な生活環境の中で暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 2 5 2 5 0 1 1 項 目 中事業 中事業名 1 5 0 5 - - -
	目的 対 象	下水道接続済の市民	意 図	下水道に排水できるように維持管理する。	特定環境保全公共下水道施設管理事業 大東町地区特環施設管理事業 加茂町地区特環施設管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・維持管理業務委託 ・処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・処理場 2箇所、中継ポンプ 18箇所の電気、水道等維持管理費	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・同左			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 処理区数	箇所	2	2	2	2
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	接続家庭 接続家庭の汚水排水 河川の水質	ア 処理人口	人	5,615	5,545	5,492	5,492
		イ 接続人口	人	4,196	4,204	4,278	4,310
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
汚水を浄化する。生活環境を改善する。	ア BOD除去率	%	98.7	98.7	99.0	99.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
需用費 14,253千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
役務費 2,376千円		県支出金	千円				
委託料 30,189千円		地方債	千円				
工事請負費 1,080千円		その他	千円	43,587	44,192	47,898	60,526
計 47,898千円		一般財源	千円				
(大東町地区 19,763千円)	事業費計(A)	千円	43,587	44,192	47,898	60,526	
(加茂町地区 28,135千円)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	104	104	160	
		人件費計(B)	千円	407	405	622	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	43,994	44,597	48,520		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・加茂地区については、H24年度において長寿命化計画を策定した。 ・大東地区については、大東浄化センター増設工事がH26年度末に完成した。	・平成24年度において加茂浄化センター長寿命化計画を策定した。 ・今後は維持管理費の縮減のため、予防保全型にシフトし計画的な機器更新に努める。	・適切な維持管理。 ・議会からは、下水道経営の安定化に向けた対策についての意見がある。

事務事業名	特定環境保全公共下水道施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	-------------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現時点で放流水質基準を満たしているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	汚水処理は、継続的に実施しなければならないので、廃止・休止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		<input type="checkbox"/> 他に手段がない
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、今後大東・加茂浄化センターの脱水設備等の修繕・更新が不要となる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	施設の管理は既に委託形式をとっており、現在でも最低限の人員及び業務時間で業務を行っている。	
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		水道の使用量により料金を賦課しているため、公平である。また平成20年度から下水道使用料を一本化した。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
C 効率性	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・面的整備については概ね完了したが、加茂地区については経年による機械の劣化が課題となっている。 ・雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、平成29年度から大東・加茂浄化センターの脱水設備等の修繕・更新が不要となる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
<p>・長寿命化計画に基づき、機械・電気設備等の修繕及び更新が必要である。事後保全型から予防保全型にシフトし、ライフサイクルコストの縮減を図ることが求められている。</p>																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下		×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					